

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成26年度 第2回入間市文化財保護審議委員会
開 催 日 時	平成26年11月13日(木) 午前10時00分開会・午前11時40分閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	㊟枝窪 邦茂
出席委員(者)氏名	㊟枝窪 邦茂 ㊟鹿島 英明 田代 甲平 大館 勝治 渡邊 久芳 法隆 康一 大河内 隆敏 柳澤 かほる 梅津 久昭
欠席委員(者)氏名	林 宏一
説明者の職氏名	博物館主査 大久保 卓 同主任 工藤 宏
会 議 次 第 (<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開の別)	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1) 新規指定文化財の候補について 4 報 告 (1) 市指定文化財「斉藤家のドウダンツツジ」について (2) 「西久保観世音の御開帳」について 5 その他 6 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	平成26年度 第2回入間市文化財保護審議委員会資料
事 務 局 職 員 職 氏 名	・生涯学習部部长 福田 光嘉 ・生涯学習部次長 宮岡 利幸 ・生涯学習部博物館館長 黒澤一雄 ・博物館副館長 宮臣 敏夫 ・同主幹 齊藤 祐司 ・同主査 大久保 卓 ・同主任 工藤 宏 ・同主事 長谷川 奈美
会議録作成方法	筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項	
議 題	議 題 (1) 新規指定文化財の候補について
決 定 事 項	1 議 題 (1) 新規指定文化財の候補について 新たに指定文化財候補として推薦された6件について、意見交換を行った。 今後、現地の視察を行い、新規指定文化財の候補についてさらに絞り込んでいくこととなった。 2 報 告 (1) 市指定文化財「斉藤家のドウダンツツジ」の状況について 樹勢が弱っているが、所有者の協力のもと今後も指定文化財として樹勢回復に向けて必要な処置を行っていくこととなった。 (2) 西久保観世音の秘仏について 平成26年8月16, 17, 18日に60年に一度のご開帳が行われ、秘仏となっている聖観世音菩薩立像を調査したところ、制作時期は江戸時代と見られるものであった。

会 議 録 (3)

発言者	発言内容
委員長	○ 議題に入ります。新規指定文化財の候補について、事務局からお願いします。
事務局	○ 新規指定文化財候補の推薦を6件頂きました。今後の流れとしては、これまでに挙げられている指定文化財候補と、今回の6件の推薦の中からどれを審議していくかを決めていきます。しかし、実際に見てみないとわからない部分もありますので、現地を見に行った上で、第3回審議委員会で決定できればと考えています。
委員長	○ 6件の文化財について推薦された委員から説明の後、自由に意見ををお願いします。まず、林委員より推薦の「木造千手観音菩薩立像」についてお願いします。
事務局	○ 推薦された林委員が欠席ですので事務局より説明します。所在は蓮華院で、観音堂の本尊です。普段は秘仏とされていて見ることはできません。数年に一度、御開帳をされており、その時に見ることができます。像内銘札に天文16年に前年焼失した行基御作の本尊を法印覚重を願主に鎌倉仏師長慶が再興した旨が記してあり、由来の残る仏像として貴重です。また、仏師長慶は天文18年に坂東九番慈光寺観音堂本尊も造立している鎌倉仏師で、この頃の鎌倉仏師の活動ぶりと作風を知る上にも貴重な遺例でもあります。
委員	○ 秘仏だということですが、どの程度ご開帳をしているのでしょうか。
事務局	○ 普段はレプリカを置いてあるということです。
委員	○ 文化財は保存と活用が原則なので、指定する場合には公開が課題になると思います。
委員	○ 衣ものが精巧で、首がすうっと通っていて、非常によい仏像だと思います。ですが、体部の下部に粗さがめだちます。以前はいつも見られていた記憶があります。
委員	○ 以前、文化財めぐりで見ることができました。
事務局	○ 公開の頻度については、調べまして次回ご報告します。
委員	○ 木札の内容を見ると狭山市の「明光寺」にあったと書かれています。
事務局	○ その点につきましても調べた上で、報告させていただきます。
委員長	○ 次の、「西久保家旧蔵古今雛」についてお願いします。
事務局	○ 寄贈を頂いて、今は博物館で所蔵しています。箱に文政5年の墨書があります。頭に目立った破損がありましたが、昨年度修復し、昔の姿を取り戻しています。製作年代、所有者の階層がわかっていることから、文化財的価値があると考えます。今後、県内の市町村へ調査を行い、この古今雛が県内最古ということがわかれば県指定も視野に入れて進めていきたいと考えています。
委員	○ 古今雛というのは供養してしまうことが多く、残りにくいものだと聞きます。
委員長	○ 人形は、けがれをのせておはらいするのが起源なので本来的に残すようなものではないためです。

会 議 録 (4)

発言者	発言内容
委員 委員	<p>○ 確かに残っている方が珍しいですね。</p> <p>○ 昨年度アリットで行われた「アリットの雛まつり」で、この古今雛を見せてもらいました。博物館の雛飾りに深みが出て、大変よかったと思います。ぜひ、詳しく調べてもらいたいものです。頭部に破損があったということですが、どういう破損だったのでしょうか？わざとつけたような傷であるとか。</p>
事務局	<p>○ 傷は、頭部の部分がネズミにかじられていたこと、それに経年劣化による破損です。この時代、8寸以上のひな人形は製作してはいけない禁令がありました。それなのにこの雛人形は1尺をこえる大きさで、大変異例であり、貴重なものであると思います。</p>
委員長 委員	<p>○ では、次の「久保稲荷神社の狐塚」について、お願いします。</p> <p>○ 天保13年に火山岩で築いた築山と石造りの狐塚を102名が奉納しています。天保の頃がピークかと思いますが、狐塚がすごく流行していました。この頃、久保稲荷神社があつく信仰されていたこともわかります。市内唯一の狐塚で、神社信仰の地域的な広がりがあったことを示す資料と思われます。また、石工の安藤茂兵衛の作品としても貴重です。市内にもいろいろな作品が残っています。</p>
委員 事務局	<p>○ 安藤茂兵衛については工藤学芸員が研究されていたと思うので、少し説明をお願いします。</p> <p>○ 安藤茂兵衛については市史編纂事業で石造物の調査をしていた時に興味を持ちました。扇町屋の石屋で、長泉寺に墓らしきものがあります。出身は所沢市中富のようで、父親も石の仕事をしていたようだと言っていますが、まだこの辺りははっきりとは言えません。石工の中でも、字を彫る石工の地位が一番高いものです。安藤茂兵衛は近隣の石工の中でも、非常に優れた石工です。その中でも傑出した仕事が久保稲荷神社のものであると言えます。</p>
委員	<p>○ 石材工芸品としての価値から言えば有形文化財、信仰を示すものとしての価値では有形民俗文化財になります。どちらに重きを置くかによって種別を変えることも考えられます。</p>
委員	<p>○ 祖父の話で聞いたのですが、天保の頃の久保稲荷神社は例祭の時に芝居小屋が催されたりにぎやかで栄えていたそうです。安藤茂兵衛の字もとても良い代物だと思います。ぜひ指定してほしいと思います。</p>
委員 事務局	<p>○ 築山はとても精巧に造られており、まるでモデルがあるようです。富士塚のようでもあります。文化財としてふさわしいものだと思います。</p> <p>○ 石材工芸品としての価値か、信仰の広がりを示すものとしての価値か、それも含めて審議していければと思います。</p>
委員長 委員	<p>○ 次に「宮寺カトリック教会」について、お願いします。</p> <p>○ 以前にも指定の候補に挙げていましたが、所有者の意向は候補から外してくださいということだったので、当時は候補から外しました。しか</p>

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
事務局	<p>し、市として残すべき建物だと思うので再度推薦するものです。県内でもカトリック教会としては最古のものです。</p> <p>○ 資料に写真を添付しました。内部に入ったことはないのですが、外壁や屋根瓦は改修されていますが、尖塔は創建当時の雰囲気を残しています。礼拝堂は改修されています。</p>
委員	<p>○ 指定文化財は、指定される側も歓迎して積極的に保存し活用していく態度が必要です。指定は難しいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>○ 今も使っているということで、当時、話し合いはありましたが候補から外したのだと思います。</p>
事務局	<p>○ 所有者としては修理を勝手にできなくなるのが難点です。これを機会に、内部を拝観させて頂き、調査して残しておくことも価値があると思います。</p>
委員	<p>○ 内部を見せて頂くだけでも、意味があります。</p>
委員長	<p>○ では、次の「蓮華院名号塔」についてお願いします。</p>
委員	<p>○ 候補一覧表や市史刊行物等にも千日回向塔の名称で載っています。しかし、名称を「蓮華院名号塔」とした方がよいのではないかと思います。石塔の周囲にびっしりと人名が彫ってあります。石工の名は市史では太助兵衛となっていますが、太郎兵衛に見えます。石工の名が刻まれているものとしては市内最古です。</p>
事務局	<p>○ 正しくは石工の名前は太郎兵衛だと思います。市史の時には読みきれませんでした。</p>
事務局	<p>○ 所沢、狭山などの近隣でも最古であるようです。名称は千日回向の記念に建てられたことを考えれば千日回向名号塔もふさわしいかと思えます。審議の中で決めていければよいと思います。</p>
委員	<p>○ 江戸初期の信仰の広がりが見えます。中世から近世にかけて念仏講がこの地域でどうであったのか、蓮華院との関係や施主、戒名の意味について博物館でも調べてほしいと思います。</p>
委員	<p>○ すごい人数ですね。全戸ですかね。</p>
委員	<p>○ 仕事をしながら千日間やるのは大変だと思うので、たくさんという意味での千なのでしょう。人数も計算してみると2400人以上のものすごい数です。もともと蓮華院に造立されたものなのか、他の寺や場所に造立されたものなのか、という点についてもわかっていません。</p>
事務局	<p>○ 今後さらに調べて報告させていただきます。これまでの話をすべて調べるとなると、時間もかかります。できるだけ調べて、それからの指定でもいいのかと思います。</p>
委員長	<p>○ 次に、「円照寺発句額」についてお願いします。</p>
委員	<p>○ 俳句の歴史について教える機会があり、入間市の絵馬・扁額の本を見ていたところ、この円照寺のものは発句集ではなく俳諧の連歌が書</p>

会 議 録 (6)

発言者	発言内容
	<p>いてあることに驚きました。円照寺不動堂の前で催された連歌の会で読まれた「俳諧の連歌」と発句が記されています。連歌の作者は現飯能市の飯能村の人々ですが、奉納先が市内の円照寺なので入間市の指定文化財として問題ないと思います。ほかの俳句額と違い俳句の元になった「俳諧の連歌」が記してある点が貴重だと思います。</p>
事務局	<p>○ 市内最古の俳句額です。前年の安永 8 年に円照寺不動堂が再建されており、関係ははっきりしませんが、再建を記念して奉納された可能性もあります。</p>
事務局	<p>○ 竹林社という名前が出てきますが、これは飯能の結社で、天明の大飢饉の時に飯能周辺の様子を書いた資料を残しています。俳諧の結社であったことを今回初めて知りました。芭蕉の俳諧の哲学をもう一度学び直す、加舎白雄の春秋庵という俳諧の結社があり、この辺りの村々の有力者が結社の中に入っていたことがわかっています。詠み人が春秋庵俳諧と関係があるのか、調べていきたいと思います。</p>
委員	<p>○ 市内最古の俳句額ですが、飯能の結社なので、入間市の指定文化財にするのにためらいがあります。円照寺北向き不動堂が市指定文化財になっているので、その「付（つけたり）」にする案も考えられます。また、春秋庵との関係は調べてください。</p>
委員長	<p>○ 以上で、新たな 6 件の候補について意見が出ました。この 6 件以外に挙げたいもののご意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>○ 指定候補一覧表の 19 番に粕谷義三の幟があります。市内の偉人として粕谷義三は外せない人物です。今後、粕谷義三に関連するものを指定して保存していく必要があると思います。</p>
委員長	<p>○ これまでも審議の中で出てきていますが、出雲祝神社の本殿は調査させて頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>○ では、実際に見てみないとわからない部分もありますので、この 2 件も加えて現地視察に行くということで、日程調整させて頂きますのでよろしくお願いします。なお、指定候補については第 3 回審議委員会で審議していきます。</p>
委員長 事務局	<p>○ これで、議事を閉めます。ご協力ありがとうございました。 ○ 報告を 2 件させて頂きます。</p>
	<p>前回報告した「斉藤家のドウダンツツジ」ですが、資料 2 の写真のとおり、所により枝が枯れている部分があります。樹木医のアドバイスを受け、樹勢の回復に必要な処置をしながら指定を続けていくということで所有者の方にご了承頂きました。今年度から処置を始め、市からの補助金も出していく方針です。</p>
	<p>続いて、西久保観世音の秘仏についてです。平成 26 年 8 月 16, 17, 18 日に 60 年に一度のご開帳が行われ、秘仏となっている聖観世音菩薩</p>

会 議 録 (7)

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>立像を林委員と調査しました。資料 3 にあるように、制作時期は江戸時代と見られるものでした。</p> <p>○ 次回の委員会は 2 月に現地視察を行い、3 月に第 3 回委員会を予定しています。</p>
<p>事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p>	